

# 合格体験記

愛知県(中学校・英語)に合格 K.T.さん

Q なぜ教師を目指したのですか？

A もともと学校と教えることが大好きだったのと、中学の時の熱い担任に憧れたからです。

Q 教員採用試験に向けて、いつから勉強しましたか？

A 本格的に勉強を始めたのは、年明けの東アカの講座（一般教養）を受講した時です。

Q 勉強する際、どのような教材を使っていましたか？

A 東アカの参考書、教職教養ランナー、教職教養パスラインなど。

Q 息抜きの方法は？

A カラオケに行ったり、友達と喋ったり。

Q 一日に何時間ほど勉強しましたか？

A 平日は授業があったので3時間程度、休日は6～9時間くらいです。

Q 大阪府以外の自治体への対策についてはどのようにしていましたか？

A 図書館へ行き、「教職課程」という雑誌を見てどの範囲の出題が多いのか、面接ではどのようなことを問われるのかをチェックしていました。

Q 教職ナビは、どのような点が良かったですか？

A 素晴らしい先生方、先輩方、そしてともに戦う仲間を得ることができたことです。また、採用試験の情報を交換したりと、常に教職に対する熱意を磨けたことです。

Q 教職ナビでは、どのような活動をしましたか？

A 主に面接練習を行いました。あとは、朝の勉強会に参加し、一般教養や教職教養の勉強を行いました。

Q 面接対策はどのようにしていましたか？

A とりあえず回数をこなしました。先輩方にご協力して頂いたり、ほかのナビの面接練習に参加させて頂いたり、全部で10数回ほど練習しました。  
その都度、ノートに内容を記入し、面接前に見ていました。それと、ほかの人の面接練習を積極的に行き見に行きました。他の人の面接練習を見学するのはとても大切だと思います。

Q 来年から教壇に立つわけですが、どのような先生になりたいですか？

A 常にパワフルで、熱い先生になりたいです。辛いことも多々あると思いますが、生徒には常に笑顔で接し、慕われる先生になりたいと思います。授業では、生徒の視線に立ち、生徒に「楽しい・分かる」と感じてもらえるよう、創意工夫を怠らず授業を行っていきます。

Q 後輩にメッセージをどうぞ。

A 皆さんの中には、今の時点で、『絶対に教師になりたい！』や『教師になりたいけどまだ漠然としている…』など、様々な考えをもっている人がいると思います。  
でも大丈夫です！これから色々なボランティアをしたり、教育実習を経験することにより、必ず自分の気持ちが強まってきます！そこで私からは3点お願いしたいことがあります。

1点目は、教職に対する想いが固まっていなくても、今できること、今しか出来ないことを出来るだけ多く経験しておいてください。  
それはボランティア活動、留学、出前実験であったりとたくさんあります。このような経験は学生のうちにしかできません。そして色々な経験をしているほど、将来の生徒にも色々なことを伝えることが出来ます。何かをしたいと思っているなら、すぐに先生方に相談してみてください。

2点目は、先生方や先輩方との繋がりはもちろんですが、まずはしっかりと同回生との横の繋がりを築いていってください。  
これから採用試験の本番まで、とても長く、辛くなる時期が訪れます。でも横の繋がりをきちんと築き、一緒に戦う仲間がいれば大丈夫です！必ず乗り越えることが出来るし、合格以上に大きなものを得ることが出来ると思います！正直、一人だけでは合格は厳しいです。

3点目は、勉強ばかりでなく、きちんと遊んでください。  
毎日毎日勉強ばかりせず、ちゃんと息抜きをしてリフレッシュする時間を作ってください。真面目なのは大切ですが、真面目すぎるのもどうかと思います。勉強ばかりしていると視野が真っ直ぐになるので、息抜きをするように心がけましょう。

期待や不安、色々あると思いますが、努力を怠らず出来る限りのことをしてください。  
私は合格したこともそうですが、努力が報われた喜びを初めて味わいました。本当にうれしかったです。この喜びを是非みなさんにも経験してほしいです。

頑張ってください！！